

第8回 北海道大学 映像・現代文化論学会大会 — プログラム —

◎日程 2024年11月30日(土)9時30分~17時40分

◎方式 対面

◎会場 北海道大学人文・社会科学総合教育研究棟 W409会議室

◎主催 北海道大学大学院文学研究院 映像・現代文化論研究室

総合司会 応 雄

・09:30 開会の辞

押野 武志

○研究発表(25分+質疑応答10分)

* 09:40-10:15 少女マンガにおけるレズビアン表象の変遷

——森永みるく『くちびるためいきさくらいろ』を例として

博士後期課程 郭 如梅

司会 博士後期課程 金 建睿

* 10:15-10:50 怪奇をめぐる科学言説

——江戸川乱歩・小酒井不木「ラムール」を手がかりに

博士後期課程 宮崎 遼河

司会 博士後期課程 大野 建

* 10:50-11:25 武田泰淳「審判」における〈記述行為〉の多層性

博士後期課程 趙 文軒

司会 博士後期課程 大野 建

* 11:25-12:00 監督兼俳優としてのバーバラ・ローデン

——『ワンダ』(Wanda, 1970)における演技とパフォーマンスについて

北海道大学大学院文学研究院専門研究員 堅田 諒

司会 博士課程 李 良坤

(昼食休憩)

* 13:30-14:05 「レール」から「曠野の中」へ

——北川冬彦の長編叙事詩について

博士後期課程 寺本 真太郎

司会 修士課程 明 如雪

* 14:05-14:40 青来有一「ジェロニモの十字架」における記憶と語り

修士課程 パラギナ・アレクサンドラ

司会 修士課程 押野 壮

* 14:40-15:15 「手紙」を読み上げる時
——『恋のエチュード』（1971）を中心に

修士課程 易 雨菱
司会 文学研究院専門研究員 堅田 諒

* 15:15-15:50 「縫合」のパーспекティブ

博士後期課程 三浦 光彦
司会 修士課程 塩崎 達也

○講演 (16:10-17:40)

講師紹介 川崎 公平

〈映画と写真〉再考

関西大学文学部教授 堀 潤之

・閉会の辞

水溜 真由美

(肩書きの記載のないものは、映像・現代文化論研究室教員)